

# やさい週間情報(第6号)

平成29年5月19日(金)

全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	7,000~6,500	7,000~6,500	-	1本売り (2L・L) 498~398円	本県産中心に北海道産の販売。 野菜全般に厳しい販売状況が続いているが、ながいもについては引き続き堅調な販売となっている。 これまで通り、売場はカット販売中心で、更にC品への引き合いが強まっている。 来週からは幾分、本県産の出荷量が増えるものの総体量としてはそれほど多くなく、保合いでの販売となる見込み。
		A3L	7,000~6,500	7,000~6,500			
		A2L	6,000~	6,000~			
		A L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		A M	4,500~4,000	4,500~4,000			
		B4L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B3L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B2L	5,500~	5,500~			
		B L	4,800~4,500	4,800~4,500			
		B M	4,200~	4,200~			
		C2L	4,500~4,300	4,500~4,300			
C L	4,000~3,800	4,000~3,800					
名古屋	本県産 北海道産	A4L	6,500	6,500		1本売り 598~498円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 引続き、本県産・北海道産ともに入荷量が少なく、カット販売向けのC品を中心に引合いの強い状況が続いており、価格は強保合いの販売となった。 来週についても引続き、入荷量が少ない中、気温上昇により引合いは強まる見込みから、C品を中心に堅調な販売が続く見込み。
		A3L	6,500	6,500			
		A2L	6,000	6,000			
		A L	5,200	5,200			
		A M	4,200	4,200			
		B4L	6,000	6,000			
		B3L	6,000	6,000			
		B2L	5,500	5,500			
		B L	4,700	4,700			
		B M	4,000	4,000			
		C2L	4,400~4,200	4,500~4,400			
C L	4,000~3,700	4,000					

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L	7,000~6,500	7,000~6,500		カット 68~98円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 4月以降、入荷量が多くなっている北海道産は、他作業の開始から切り上がる業者と、徐々に増量している系統とで、半々の入荷割合になっている。 今週については、太物とC品で安定した引合いがあるものの、依然としてL級のみで荷動きが鈍い状態が続いている。また、価格は保合推移となっている。 来週についても価格は保合推移となる見込み。
		A3L	7,000~6,500	7,000~6,500			
		A2L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		A L	5,300~5,000	5,300~5,000			
		B4L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B3L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B2L	5,600~5,300	5,600~5,300			
		B L	4,600~	4,800~4,600			
		C2L	4,500~4,200	4,500~4,200			
		C L	4,000~3,800	4,000~3,800			
九州	本県産	A4L	7,000~6,800	7,000~6,800		カット 100g 98~78円	連休明け以降、やさい全般に荷動きが鈍い中、日中の気温が高い影響により、ながいもは4・3L級およびC品は順調な販売で推移している。 しかし、価格高に伴う売価設定の関係から、特にL級の引き合いは鈍いままとなっている。 今後も売価設定の高さから、特売等の企画は組み込まれないが、流通量の少なさから現在の価格を保ったまま推移する見込み。
		A3L	7,000~6,800	7,000~6,800			
		A2L	6,500~6,300	6,500~6,300			
		A L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B4L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B3L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B2L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		B L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		C2L	4,200~4,000	4,200~4,000			
		C L	4,200~4,000	4,200~4,000			
東北	本県産 北海道産	A4L	6,500~	6,500~	なし	1本売り 480~円  カット 100g 84~78円	本県産中心の販売。 入荷量は少ない状況とが続いていることから、市況は保合いの推移となった。ただ、1本売りの売価が高く、L級中心に荷動きは鈍いものの、C品等のカット販売の動きは良い。 週以降についても大幅な増量は見込めないため、堅調な販売は続く見通し。
		A3L	6,500~	6,500~			
		A2L	6,000~5,500	6,000~5,500			
		A L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B4L	6,000~	6,000~			
		B3L	6,000~	6,000~			
		B2L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B L	4,500~	4,500~			
		C2L	4,200~4,000	4,200~4,000			
		C L	4,000~3,800	4,000~3,800			

品名 にんにく

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 香川県産	A 2 L A L A M 秀 3 L 優 3 L 良 3 L	2,000~ 2,200~2,000 2,200~2,000 1,000~ 800 800~ 700 600~ 500	2,000~ 2,200~2,000 2,200~2,000 1,000~ 800 800~ 600~	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 ｽ <sup>ハ</sup> ｲ産 1 P 158~98 円	本県産氷温品・C A品中心に西南暖地の生品の販売となっている。 香川県産の生にんにくの出荷はピークを過ぎたものの、順調な出荷が続いている。本県産の氷温品、C A品については終盤を迎え出荷量も徐々に少なくなっている一方、L M旧を中心に荷動きは鈍くやや弱めの相場展開となっている。 来週についても引き続き保合いでの販売となる見込み。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,000 2,200~2,000 2,200~2,000 1,800 2,000~1,800 2,000~1,800	2,000 2,200~2,000 2,200~2,000 1,800 2,000~1,800 2,000~1,800		L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 他県産生にんにくの入荷が徐々に増えてきている中、本県産については、流通在庫の増加や転送品の出回りなどから、L・M級を中心に弱保合いでの推移となっている。 来週についても引き続き、荷動きの鈍い状況が続く見込みから弱保合での販売となる見込み。
大阪	本県産 中国産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,200~2,000 2,200~ 2,200~ 2,000~ 2,000~ 2,000~	2,200~2,000 2,200~2,000 2,200~2,000 2,000~ 2,000~1,800 2,000~1,800		L 1 P 298 円	本県産中心に和歌山県産・徳島県産の販売。 引続き、安価な転送品の出回りが多く、他県産よりも本県産の転送品が直荷の販売に支障をきたしている。市場によって異なるが、L級およびM級の在庫が増えている状況にある。 来週についても、転送品の出回りは多いと予想されるため、価格は弱含み推移となる見込み。
九州	本県産	A 2 L A L	2,200~2,000 2,400~2,200	2,200~2,000 2,400~2,200		L 1 P 298~258 円	九州各県産の生にんにくが出回っている中、本県産の安価な転送案内も多く、直荷との価格差が広がっている。 にんにく全般に荷動きが鈍く、L級の荷動きも鈍くなっている。 今後、現在の荷動き以上に悪くならないよう柔軟な価格形成で、流通在庫が多くならないように努める。

品名 にんにく No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	A 2 L A L A M	2,000～ 2,200～ 2,200～	2,000 2,200～2,000 2,200～2,000	なし	L 1 P 298円	<p>本県産中心の販売。 先週に引続き入荷量が少ない状況となったものの、高値の影響から荷動きは鈍く、特にL級中心に市況は弱含み推移となっている。 他県産の生品の入荷は無いものの、荷動きの鈍さから、来週については市況は弱含み推移の予想。</p>

品名 アスパラガス

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 東北産	100g A L 150g A L	150～140 200～180	140～130 180～160			<p>東北各産地中心の販売となっている。 気温上昇に伴ない、福島県産をはじめ、東北各産地の出荷がピークとなっており、市況は下げ基調で推移している。 来週についても秋田県、山形県産の増量が見込まれており、市況は更に一段下げての販売となる見込み。</p>
大阪	九州産 本県産	150g A 2 L 100g A L A M A S	230～ 170～ 150～ 110～	220～ 160～ 140～ 100～			<p>中国産（広島県・岡山県）と、長野県産、本県産の販売。 中国産の入荷が本格化し、一部九州産の夏芽の入荷も始まったことから入荷量が増加しており、価格も下げ基調となった。 来週については、広島県・岡山県産は横ばい、九州産が増量傾向となっているため、価格は引続き下げ基調となる見込み。</p>
東北	本県産 東北産	100g A L 150g A L	本県産 160～ 140 200～ 180	本県産 150～ 130 190～ 160		—	<p>本県産中心の販売。 関東近在は来週から徐々に減少する一方で、東北各産地は徐々に増量する見込みから、市況はやや弱めの推移となっている。 来週については、本県産の出荷量がさらに増量となることから市況は一段下げの予想。</p>

品名 きぬさや

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	1 kg A M	3,000~2,800	3,000~2,800			愛知県産や西南暖地が終盤でこれまでは数量が少なかったものの、今週前半から福島県産の露地物の出荷が増えており、価格についても弱めの相場展開となっている。 露地物の出荷が始まり来週から翌月始めにかけてピークをむかえる見込みから、総体量は多く厳しい販売となる見込み。
	福島県産	1 kg A M	1,300	1,300			
名古屋	本県産	A M	3,000~	3,000~2,500			徳島県・和歌山県産中心の販売となっている。 徳島県産は終盤により減少、和歌山・本県産は微増となっているものの、総体量は少なく堅調な販売となった。 来週については、本県産の入荷が徐々に増えるものの、総体量の少なさから概ね保合いでの販売となる見込み。
大阪	福島県産 広島県産 本県産	A L A M	2,500~ 3,000~	2,500~ 3,000~			広島県産・本県産・福島県産の販売。 入荷量は多くないものの、引続き業務需要が活発でないことから荷動きは鈍く、価格は弱含みとなった。 来週については、業務需要に回復の兆しがあるものの、福島県産が増量すると予想されていることから、同様の傾向が続く見込み。
東北	本県産	A M	2,800~	2,800~	なし	—	本県産中心の販売。 本県産の増量に伴い市況は徐々に軟調推移となっている。 来週については、本県産の出荷量は引続き増加見込みから、弱含みの販売展開となる見通し

品名 だいこん

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	千葉県産	A 2 L A L	600~ 800~ 700	600~ 800~ 700	—	1本 198~178円  ハーフカット 98円	千葉県産を中心に関東近在産の販売となっている。 降雨や気温上昇に伴ない週前半から出荷量が増え始めたことに加え、品質劣化(黒しみ等)の影響から価格を下げながらの販売となっている。 関東近在産の出荷は6月10日頃までの見込みだが、品質劣化から本県産への要望は強い。しかしながら、関東近在産との価格差が懸念される為、相場については厳しい販売が見込まれる。
東北	関東近在産 本県産	A 2 L A L	本県ハウス物 1,200~1,100 1,300~1,200	本県ハウス物 1,200~1,100 1,300~1,200	—		千葉県中心の販売。 関東近在産は品質低下が散見され市況は下げの展開となっている。 本県産についてはハウス物の入荷はあるものの、数量が少なく高値基調の推移となった。 来週についても、本県各産地が徐々に揃うも、出荷始めから数量少なく、市況は保合い推移の予想。